

せいろう

Seiro Town

Vol.115

6月議会

平成28年
7月22日発行

新潟県聖籠町議会

議会だより

大きくなあれ♪
おいしくなあれ♪
(3こども園の5歳児)

6月議会主な質疑

2～3ページ

11人が一般質問

8～19ページ

委員会報告

20～21ページ

国民健康保険税条例の一部改正、定住自立圏形成協定に係る議会の議決に関する条例など13議案を全て可決。

平成28年6月14日～20日(会期7日間)

6月定例会

例正 国の法改正で 条改 専決処分

国民健康保険税 条例

地方税法等の一部を改正する法律が、平成28年3月31日に公布され、町は専決処分をしました。改正内容は、国保税の基礎課税額および後期高齢者支援金等課税額を各2万円引き上げます。国保の5割軽減および2割軽減の対象になる世帯の軽減判定所得の算定で、被保険者の数に乘じ金額を引き上げます(国保に対する国の軽減措置です)。

討論

反対 中村恵美子議員
国保はもともと所得の少ない層に対するものである。今回の改正は、国保の趣旨に反するものなので反対。

採決 賛成12反対1で可決

条例改正

町の課題は 医療費削減

国民健康保険税 条例

国保の被保険者の減少により国保税が減収になっています。一方、医療給付費は増加傾向になっていて、平成27年度は8千万円超の法定外繰入が

主な質疑

中村恵美子議員 今回、値上げをしても、国保税

今後とも値上げを考えているか

基本的には据え置きたい

必要になりました。今後も、国保被保険者の減少と給付費の増加傾向が続く場合、基金が底をついた現状では、法定外繰入の増額が避けられない状況です。そこで、平成28年度分の国民健康保険税の税率の改正(引き上げ)を行います。

二つの課で連携する

町民課長 町の高齢化率は県内で低いが、国保世帯では65歳以上の加入割合は増えている。従来の各保健事業の充実と病氣予防について、保健福祉課と町民課の二つの課で連携を密にする。

老人クラブを活用すべき

小川益一郎議員 町内には、各集落に老人クラブがあるが、近年、会員不足で解散するクラブも出てきた。しかし、老人クラブでの活動には、保健指導や運動指導があり、そして、会員同士が親睦をはかることで支え合いが生まれる。老人クラブを活用して、医療費削減につなげるべきではないか。

活用することは同感である

町長 町内各集落の中で、医療費などが削減されている集落のデータでは、高齢者が現役の時のように働き、話仲間がいるという分析もある。今後、老人クラブに対する支援を後退させない。

国保税上がるのは本算定後か

宮沢光子議員 国保税は仮算定ということで、

町広報などで知らせる

町民課長 平成27年度の所得確定をした後、本算定で通知する。今回の改正には、全加入世帯の53%に軽減措置があり、残りの世帯が上がる。1人当たりの上がり額は単純に計算して、約9500円である。今後、町広報紙等で周知する。

討論

反対 中村恵美子議員
家族の多い国保世帯にとって、保険税が上がるのは大きな負担になる。保険税の滞納にもつながるので反対。

定住自立圏形成協定に係る議会の議決に関する条例

採決 賛成12反対1で可決

条例制定

基礎データに 間違いはないか

人口減少や少子高齢化が進む中で、市町村の枠を超えた広域的な取り組みや行政と民間の連携・役割分担を通じて、圏域全体の活性化を図る政策です。町が他市町村と定

主な質疑

五十嵐利栄議員 広域圏

届くか町民の思い

であるが、昨年9月に新発田市から出された「中心市宣言書」の中で出されている本町のデータに間違いがある。基礎データが実質と違えば、正しく議論ができないのではないか。広域圏の事業に、町民から出ている通学路の整備や路線バスの改善などを提案することは可能か。

提案を精査して協議する

総務課長 新発田市が出したデータの根拠と、広域圏内事業に町民が望むことを精査して協議する。

討論 なし
採決 全員賛成

人権擁護委員に 宮野洋子さん(再任)



宮野 洋子さん (山三賀)

人権擁護委員の宮野洋子さんが平成28年9月30日に任期満了になることから、引き続き推薦され、全員賛成で適任と認めました。



▲利用範囲が広がってほしいエコバス

聖籠町にはじめて病児保育

一般会計補正予算

主な歳入

- 病児保育事業運営費負担金 (国庫、県費) 775万円
- 保育所等整備交付金 1611万円

主な歳出

- 病児保育業務委託料 1163万円
- 保育所整備補助金 2416万円

主な質疑

病児保育の内容は

〔中村恵美子議員〕病児保育関係の負担金、補助金の内容はどうなっているのか。

国・県・町3分の1ずつ負担

〔子ども教育課長〕国・県・町が3分の1ずつ病児保育に補助する。定員は1日3人であり、140日分をみている。

町社会福祉協議会助成金何か

〔五十嵐利栄議員〕町社会福祉協議会助成金で442万円あるが、中身は何か。

平成28年度一般会計補正予算は、既定予算に歳入歳出それぞれ4956万円を追加し、総額71億4956万円と定める予算を全員賛成で可決しました。
主な質疑は、病児保育事業運営負担金、保育所整備補助金、ざぶ〜ん館などについて行われました。



▲待ちに待った病児保育（新潟聖籠病院）

当初予算に計上できなかった人件費

〔保健福祉課長〕日常生活自立支援事業で県社会福祉協議会より委託を受けて、認知症や判断能力のない人の金銭や書類を管理するサービスを行う。本事業に取り組むに当たり、人事異動で人員は確保されたが、当初予算に計上できなかった。

第1回臨時議会

消防回県大会へ出場決める

平成28年第1回臨時会が7月11日、1日間の会期で開かれました。総額に歳入歳出それぞれ357万円を追加し、予算の総額を71億5313万円と定める補正予算です。全員賛成で可決しました。

主な歳出

- 時間外勤務手当（生活環境課）34万円
- 県消防大会出場経費（旅費等）323万円



▲めざせ全国大会

の返還利率は何％に変更か。

利率は1・8％から0・1％に

〔財務財政課長〕平成17年に借り入れ分で、利率は1・8％から0・1％に変更となった。臨時財政対策債で、元金2億円で借り上げたものである。これは特殊なもので、10年後に見直すことになっていた。

仕事量の増で増員か

〔小川勝也議員〕土木総務費の臨時雇用賃金は、仕事量が増えたから臨時で雇うのか。

減 人事異動で1人

〔ふるさと整備課長〕4月の人事異動で、正職員が1人減となり、これに対応するための臨時職員1人分である。



▲町の顔 ざぶ〜ん館

ざぶ〜ん館の今後は

〔宮沢光子議員〕ざぶ〜ん館の備品購入費のことは理解している。20年近くになるざぶ〜ん館は町の顔として、位置付けは観光的なものか、町民の健康福祉施設か。

健康増進として位置付け

〔町長〕設置目的は条例を制定した時に、十分説明してきた。健康増進施設としての位置付けである。

時代に合った運営を

〔宮沢光子議員〕近隣では、いろいろな運営の仕方をしていく所がある。ざぶ〜ん館もこの時代に合ったものにコンサル的なところに依頼したらいいのではないか。

住民ニーズに対応

〔町長〕温浴施設は、健康増進施設の位置付けでき

ている。要望があれば施設の中で対応できるものは、対応していかねばと考えている。

保育園整備の身は

〔中村恵美子議員〕保育所整備補助金はまごころ保育園東港のものとして聞いている。どこに増設し、部屋数

裏側に増設

〔子ども教育課長〕保育園の増設は、裏側に行う。

保育室は3室で、プレイルーム、更衣室、休憩室がある。

長期債返還何％に変更か

〔五十嵐利栄議員〕長期債

●ふるさと納税は2200件 228万6千円

●国民健康保険税は引き上げが必須

●「心友会」からは
返還予定の2割相当を収入

行政報告



わたなべ 渡邊町長

▼熊本地震では、改めて、心から哀悼の意とお見舞いを申し上げます。

が政治に参加し、投票率が向上することを期待します。

▼熊本地震では、改めて、心から哀悼の意とお見舞いを申し上げます。

が政治に参加し、投票率が向上することを期待します。

▼ふるさと納税は、6月13日現在の申し込みは220件、寄附額は228万6千円となっております。

▼大夫興野インターのフル化事業に伴う、周辺の町道認定と旧路線の廃止案を議会に上程します。

▼港湾関係では、先般のクルーズ客船の受け入れの成功により今後、交流拠点としての役割も高まっています。

▼学校教育関係では、学力の向上と社会性の育成を図っています。さらに本町の12年カリキュラムの完成を目指します。

▼児童クラブ入会児童数は、6月1日現在、133人です。

▼社会教育関係では、「聖籠町第2次生涯スポーツ推進計画」を策定しました。今年から10年計画となるものです。

▼国保特別会計は、赤字続きなので、保険税の引き上げをお願いいたします。

▼「心友会」の返還金は予定額の2割相当を収入したところです。

読者の声

地域の子どもたち



はせがわ さなえ 長谷川 早苗さん (蓮濁)

「〇〇君何して遊んでいるの?」「探検ごっこだよ」「いいなあ」「うんいいよ」こんな会話から子どもたちのコミュニケーションが始まります。

頭にして、一年生を真ん中に、最後列には副班長が列を正してやっできます。

私のボランティアに取り組むスタンスは、「無理せずできる範囲で」が基本です。

運動にも力を入れていきます。みんな大きな声で「おはようございます」と返事が返ってきます。特に一年生の人数が足りないときなどは、「〇〇君はどうしたの?」「風邪だった」「早く元気になるといいね」などと、会話が交わされます。

子どもたちの通学時間に、交通事故や危険箇所を事故にあわないよう、見守りながら一緒に歩きます。通学グループごとに声をかけながら、蓮濁集落から山倉小学校に向かって歩き、聖籠中学校前の広域農道の信号前で待っています。すると、通学班ごとに班長を先

ながら見守り活動を続けています。町に望むことは、蓮濁集落から山倉小学校までの通学道路の整備です。蓮濁集落の入り口から、苜沼集落手前100メートルくらいまでは歩道がありますが、苜沼集落の通学道路整備について、関係者から陳情が出され議会では、採択されたと同っています。一日も早くこの道路の整備が着工することを願っています。

子どもたちの通学時間に、交通事故や危険箇所を事故にあわないよう、見守りながら一緒に歩きます。通学グループごとに声をかけながら、蓮濁集落から山倉小学校に向かって歩き、聖籠中学校前の広域農道の信号前で待っています。すると、通学班ごとに班長を先

大人も子どもも、時には油断があります。ふざけあって道路に飛び出したりするときは、思いきり注意します。今日も明日も無事故であることを願っています。

みなさんの 請願・陳情

第2回定例会では、地域住民より直接の声となります請願3件を審査し、2件を全員賛成で採択、1件を賛成6反対7で不採択としました。

採択した請願

◎30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願書

〔提出者〕 新潟県教職員組合下越支部 執行委員長 小室 謙司
〔紹介議員〕 中村 恵美子・五十嵐 利栄

◎これ以上の荒廃に歯止めをかけるために労働時間と解雇の規制強化を求める意見書の提出を求める請願

〔提出者〕 新潟県国家公務員労働組合共闘会議 議長 坂内 陽子
〔紹介議員〕 宮沢 光子・小川 益一郎

意見書を国に提出

第2回定例会で2件の意見書が提出され、全員賛成で可決されました。可決された意見書は、国の関係機関に提出し、実現するよう要請します。

◎30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書

◎これ以上の地域の荒廃に歯止めをかけるために労働時間と解雇の規制強化を求める意見書

不採択とした請願

◎所得税法56条廃止の意見書を国に提出することを求める請願書

〔提出者〕 新発田民主商工会 聖籠支部長 中村 登
〔紹介議員〕 五十嵐 利栄・中村 恵美子

反対討論 宮沢 さやか議員

所得税法第56条は、家族従業員を雇用することによる所得分配を抑制するため、給与を必要経費に参入しないとしている。その一方で、所得税法第57条の規定では、所定の手続きを経た場合は給与として必要経費に参入することが認められており、正確な記帳と帳簿書類を保存する青色申告においては、専従者給与を参入することができる。所得税法第57条によって現行法での選択肢は整備されており、進むべき方向は第56条を廃止することではなく、青色申告を一般的にすることと考える。よって、本請願には反対である。

賛成討論 中村 恵美子議員

青色申告と言われるが、青色申告は、税務署長が条件付きで一部経費を認めるもので、いくつもの義務が課される。税務署長の裁量で取り消されることもあり、実際の家族の働きを否定することは、憲法の理念に反している。申告形態に関わらず、家族一人一人の働き分は必要経費と認めるべきである。全国的に見ても7割近くの方が白色申告である。今、町の方でも小規模事業者の条例を作成し守っていくという状況の中で、第56条はおかしいと考える。



宮沢 光子議員

どうなる高齢者の介護事業

町長 地域の実情に応じた基準になる

問 国の制度が変わったことで、平成29年度から、介護予防・日常生活支援総合事業が新しく開始される。新事業と従来の支援事業の違いは何か。

新事業を成功させるには、自治体のマンパワー、人の力と総合事業のケアプランのより高いスキルが必要である。移行する前に、高齢者への説明をどう考えているか。

新潟市では、地域包括推進モデルハウス「実家の茶の間」を市内全區に設置する方針を出した。当町にも、類似した活動はあるが、高齢者のみならず、各年齢層が申し込み不要で集える「お茶の間」をどう考えるか。



▲健康ダンスで毎日の元気づくり

町長 国の制度改正で、介護度の軽い要支援1・2の介護サービスを、市町村が実施する新事業に移行するのが、従来と違う点である。平成29年度から地域の実情に応じた基準等によるサービスに変わる。

今、ようやく国の制度設計の内容が明らかにな

った。今後、サービスの内容説明等をしていく。茶の間の支援事業については、町に「なごみの家」「聖海荘」等がある。

議論せよ 「しつけと虐待」の違い

教育長 学校も教訓としている

問 3月議会で、子どもへの虐待などを12件、把握していると答弁したが、その後、どうなったか。

5月に北海道で起きた小2男子置き去り事件を、町の教育現場でも議論すべきと思うがどうか。

教育長 12件について全ては解決していない。懸命に対応している。置き去り事件は教訓とすべきと思っている。

「まちづくり大学」の具体案は

教育長 二つの課で協議し計画づくり

問 聖籠町生涯学習推進計画が平成24年度から策定されているが、計画に沿って今までのどのような事業展開があったのか。

今年度、「(仮称)まちづくり創生大学」が、社会教育事業の一環で考えられているが、具体的な概要や開学時期は決まったのか。

教育長 推進計画に基づいて、各年齢層に向けて取り組んできたが、21事業の中で十分成果が得られたのは7事業である。それは「社会教育課長」まちづくり創生大学は20歳から40歳を対象に定員は20人前後。授業は当面、月1回。平日夜間の開催。町全般を学んでもらい、一方面的な座学にはしない。主任コーディネーターを大学講師など専門家に依頼予定で、交渉中である。



一般質問 町政を問う

- 6月議会では、11議員から町政を問う一般質問がありました。
- 一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、町長等に疑問点をたずねるものです。
- 次ページからは、それぞれの一般質問について要約を掲載しています。
- 全文は会議録として、8月末に町ホームページに掲載される予定です。

11議員が質問

- | | | | | | |
|--|--|---|---|--|--|
| <p>宮沢 光子 議員 P9</p> <p>2 1 認知機能評価の導入を 図書館機能のより一層の拡充を</p> | <p>長谷川 六男 議員 P13</p> <p>3 2 1 海岸整備と浸食防止の対策を ピロリ菌検査の導入を 「まちづくり大学」とは</p> | <p>五十嵐 利栄 議員 P12</p> <p>2 1 非常勤職員の賃金アップを 投票率アップの具体策は</p> | <p>高松 守雄 議員 P11</p> <p>2 1 クルーズ船の効果は 18歳の政治参加どうする</p> | <p>小川 勝也 議員 P10</p> <p>3 2 1 教育施設は万全か 公有車の使用状況は 総合計画と人口ビジョンは その他の質問</p> | <p>宮沢 光子 議員 P9</p> <p>3 2 1 どうなる高齢者の介護事業 「まちづくり大学」の具体案は 議論せよ「しつけと虐待」の違い</p> |
| <p>青木 順 議員 P19</p> <p>1 今年の夏まつりどんな計画か</p> | <p>渡辺 豊 議員 P18</p> <p>3 2 1 5月の連休なぜ休館するのか 敬老会式典いつまで続く ふれあい農園の現状と展望は</p> | <p>中村 恵美子 議員 P17</p> <p>3 2 1 保険税は統一化するな 新総合事業のスケジュールは 就学援助に生徒会費等も</p> | <p>田中 智之 議員 P16</p> <p>3 2 1 安全な通学路にPTAの声を 平均正答率まで公表を ピロリ菌検査の実施を</p> | <p>小川 益一郎 議員 P15</p> <p>3 2 1 固定資産税訴訟の経緯は 教師の町へ定住促進 「空き家」対策の補助金拡大</p> | |



小川 勝也議員

教育施設は万全か

教育長 改善・充実に努める

問 ① 亀代児童クラブの設計では、蓮野、山倉での反省点を改良してきたと思うが、どのような部分を改良・改善したか。

② 児童クラブの利用者があまり増えてない。運営の工夫が必要ではないか。

③ 聖籠中学校で教育環境充実のために、建物の用途変更や、教育プログラムの改善が必要でないか。

④ 新図書館が開館し、2年たった。他の教育施設との連携の状況は。

⑤ 未使用となっている旧聖籠中学校のプールと、役場前テニスコートは。



▲整備は万全

町長 公務使用には支障ない

問 ① 町長車同様に老朽化している公有車はないか。

② 更新する公有車は、リース車にすべきでないか。

③ 現状で使用頻度の低い公有車はないか。

町長 ① 10年経過した車

② メリット、デメリットの検証をし、検討する。

③ 使用目的が決まった車以外、毎日稼働している。

公有車の使用状況は

改善・充実に努める。

③ 建物の用途変更は、考えてない。教育プログラムは、国・県の施策を確認し、柔軟に対応する。

④ ことも園は読み聞かせ。

小学校は移動図書館。中学校は団体貸し出しを行っている。

⑤ プール使用は考えていない。テニスコートは、ヘリポートで使用。

総合計画と人口ビジョンは

町長 総合計画が最上位計画

地方創生を主眼とした施策をまとめている。

② 7月上旬には調査業務委託し、併せて研究会で調査・検討を進める。

③ 果樹栽培における剪定技術などの継承を予定。

④ 現況の防災無線が、アナログで老朽化、将来使用できなくなるため、導入可能なものを調査中である。

⑤ 現時点では、採用計画変更は考えてない。

その他の質問

問 子ども議会はやるか。

教育長 夏休みに実施すべく調整している。

問 ① 第4次総合計画と人口ビジョン・総合戦略の関連性と相違点は。

② CCR 構想の進捗状況と、実施予定時期は。

③ 人口ビジョンの高齢者技術継承事業とは。

④ 人口ビジョンの防災無線デジタル化とは。

⑤ 人口ビジョン・総合戦略に基づく事業実施に伴う人員配置で、職員採用計画に変更はあるか。

町長 ① 総合計画が最上位計画である。

総合戦略は人口減少と

クルーズ船の効果は

町長 観光の起爆剤に

問 ① 5月22日、イタリア船籍の大型クルーズ船「コスタ・ビクトリア」が新潟東港に寄港した。

2千人近い乗客の観光地や商業施設における経済効果や国際交流を期待した。町のざぶくん館や二宮邸のバラ園、商業施設プラント4の実績はどうであったか。

当日、南埠頭には町内外から約1万2千人が押し寄せ、終日大きな喜びを見せ関心の高さがうかがえた。

今後の取り組みは。

② あと3年で東港開港50周年を迎える。

東港工業用地もほぼ販売完了予定の状況の中で、東港開発の核となる「火力発電所」は、今後どのような計画を検討しているのか。また、暫定使用のゴルフ場の用地は、有効活用が図られるか。

町長 ① 町内の観光施設などにシャトルバスを運行し、230人の利用者があった。おおむね好評だった。

これまでの東港は、国際物流やエネルギー拠点

としての役割を果たしてきたが、クルーズ船の受け入れにより、交流拠点としての役割も高まる。

② 電力供給の安定化と、環境負荷の低減に役立つ港火力発電所の早期の更新整備に向けて、引き続き働きかける。

ゴルフ場については具体的な話はない。しかし、東港の機能強化を図る上でも、早期の有効活用を図るべきものである。JXエネルギー本社関係者と、今後のあり方について意見交換をしている。

18歳の政治参加どうする

選挙管理委員長 学校で期日前投票

問 ① 当町は国政選挙では毎回、低投票率である。特に20代の若者の投票率が低下傾向にあるため危機感を持っている。具対策はあるか。

② 参院選から選挙権年齢が18歳以上に引き下げられた。投票率の低迷が続く若年層に対し、どのような啓発をしているのか。

選挙管理委員長 ① JAPANサッカーカレッジに、選挙権を有する学生が多く在籍している。啓発活動と期日前投票所の設置を協議している。

② 聖籠町の18歳・19歳の新有権者は359人である。

選挙啓発用リーフレットに、投票をお願いする文書と図書カードを添えて郵送する。

若い世代の投票率低下に歯止めがかかることを期待したい。



高松 守雄議員



▲大きさにビックリ



五十嵐 利栄議員

非常勤職員の賃金アップを

町長 前向きに検討する

問 政府は一億総活躍プランの中で、非正規労働者の賃金を現行正職員の6割から8割まで引き上げると述べている。当町の現行は、職種により時間給が750～1100円と幅がある。代表的な職種である、時給800円と時給900円を正職員と比較すると、賞与を含んだベースでは30・23・0%と、政府がしている正職員の6割には程遠い。

また、事務職の時給800円を新発田市と比較すると1日の賃金は聖籠町が5600円、新発田市は6700円である。このような実態を踏まえ、非正規職員の賃金アップが急務だ。

政府は、保育士の給料を月6千円引き上げ、経験を積んだ職員は月4万円引き上げる。介護職員も月1万円引き上げると提起している。大事なことは、このことが確実に実施され、働いている当事者に還元されることである。所管の自治体が、検証できる体制づくりを政府に要請すべきでないか。

町長 非正規労働者の賃金については、平成28年度に改定すべきところもあった。財源との関係もあり見送ってきたが、今後前向きに検討し、他市町村や町内民間企業の動向や最低賃金の動向なども踏まえて検討する。

保育士、介護職員の賃金が適切に支給されているかのチェックについては、監査の実施や実績報告など、従業員に支給されていることを確認できる制度設計が行われる予定である。



▲期待を込めたはじめての試み (JAPANサッカーカレッジ)

投票率アップの具体策は

選挙管理委員長 選挙啓発のリーフレット配布

問 聖籠町の選挙投票率は過去からの傾向で、身近な選挙は、他市町村に劣らない投票率である。しかし、国政選挙になると、いつも県内市町村の中で下位を低迷している。この原因と投票率アップ対策をどう考えるか。

新しく18歳・19歳の新有権者が誕生する。新有権者を含む若者の投票率対策をどう考えるか。

町長 身近な選挙は、候補者と関係者が応援団として選挙が展開される。必然的に、全町的に選挙に対する意識が高揚される。

国政選挙は、候補者が地元でないなど、身近な選挙に比べ盛り上がりがない。

選挙管理委員長 選挙啓発のリーフレット配布と、投票をお願いする文書、図書券の配布を予定している。

海岸整備と浸食防止の対策を

町長 養浜事業による砂浜の復元

問 日本海側は、津波が起ころとも東日本大震災クラスの津波は来ないと予測もされているが、本町の海岸線は大丈夫だろうか。

今後、新潟県港湾協会などを通じて国・県選出議員に対して毎年要望する他、北陸地方整備局や県庁に出向き要望をしている。

今後、新潟県港湾協会などを通じて国・県選出議員に対して毎年要望する他、北陸地方整備局や県庁に出向き要望をしている。

砂浜が大部分なくなり毎年のように浸食していると聞く。あと50年もすると、砂浜が無くなるのではないかと思うくらい心配である。

町長 ①突堤の整備を進めており、4基の整備が計画されている。西側の2基の整備が完了し、3基目の突堤の延伸に着手しているところである。

②河川区域の養浜事業として、その砂を利用して波で削り取られた次第浜

一口メモ
養浜事業
浸食傾向にある海岸線に砂を寄せて、砂浜を造成する工事。

海岸へ、700立方メートルを運搬している。

③利用面や管理面などを踏まえつつ、必要に応じて検討していきたいと思っている。3号、4号の突堤が完了する時期を目標にしながら、課題として要望していきたいと考えている。

ピロリ菌検査の導入を

町長 慎重に検討を加えながら対応

問 日本人に多いタイプの胃がんでは、9割を超す確率でピロリ菌が関与していると考えられている。

町民に胃がん予防への関心を高めてもらうことで、将来的な検診の受診率向上につながるためにも、ピロリ菌検査の無料化または半額助成を検討できないか。

町長 町としても住民健康での実施や、検査料助成を実施するには時期尚早であると思う。聖籠町の長としての考え方は、検討せざるを得ないものと理解している。今後、専門の保健師や医師の助言等も踏まえながら、検討を進めていく。



長谷川 六男議員



▲砂浜を返して

「まちづくり大学」とは

教育長 社会教育課と総務課が協議中

問 社会教育の一環として、まちづくりに対する参加意識の醸成に努めたいと述べていたが、「仮称」まちづくり創生大学の進展は。

対象に定員は20人前後予定しているが、まだ構想自体が固まっていない部分も多々ある。



宮沢 さやか議員

認知機能評価の導入を

町長 導入には慎重を期して対応

問 本町の平成28年6月1日の人口は1万4193人で、高齢化率は23.6%である。また、高齢化率は国・県との比較では低く推移している。

しかし、団塊の世代が65歳以上となっており、この先本町でも高齢化率が上昇していくことは確実である。

平成26年に「日常生活圏高齢者ニーズ調査」が実施された。その中で、力を入れてほしい介護予防として「認知症予防」が45.9%と最も高く、認知症予防への意識の高さがうかがえた。

そこで健康診断の一環として、認知機能評価の導入を提案する。

認知機能評価と聞くと、

医療機関等での受診であることから抵抗を感じる方も多い。しかし、現在ではタッチパネル式コンピュータを用いた認知機能評価法があり、導入している自治体もある。

認知機能評価を実施することにより、認知症の早期発見・早期治療、またMCI（軽度認知障害）の方の認知症予防につながると思うがどう考える。

町長 評価をすることで高齢者が誤解や不安を抱く可能性がある。健診での認知機能評価の導入については、慎重を期して対応すべきものである。



▲面倒ではない タッチするだけ

図書館機能の拡充を

教育長 読書活動推進計画に基づき対応

問 図書館では本の貸し出しの他に、会議室を利用した講演会や文化団体の作品展示など、さまざまなイベントも開催されている。このようなイベントを通して、町の図書館を利用する町民が増えたいと思いませんか。

また、本町は昨年「聖籠町子ども読書活動推進計画」を策定し、図書館へ出向くお話遠足や、団体貸し出し等、取り組みは多岐にわたっている。今後も読書活動の推進を図るため、図書館と園・学校との連携と協力による取り組みが必要である。そこで、2点提案する。

①会議室を利用し、子どもたちの作品展示をしてはどうか。

②司書がこども園へ出向き、親子への本の読み聞かせをしてはどうか。

教育長 ①今後各校への協力を仰ぎ、子どもたちの作品発表の場としての会議室の活用も進めていきたい。

②親子行事等での読み聞かせは、保護者に読書の大切さを啓発する貴重な機会。親子で読書を楽しむ時間を提供していく。

固定資産税訴訟の経緯は

町長 最高裁で訴訟中

問 税は行政運営の根幹である。

特に固定資産税は最も安定財源にして、行政の一方的な課税権の行使が可能なるものである。

憲法第30条で「国民は法律の定めるところにより納税の義務を負う」とされている。しかし、土地の課税については、どのように課税されるか一般町民には理解も納得もされていない。

税は公正・公平で町民の納得と理解が得られる課税が必須の条件である。平成24年度の課税誤り

では約4500万円を還付した。この課税誤り等から、町の固定資産税評価審査委員会と町に対し裁判所への提訴がなされている。

この経緯について問う。

①異議申し立ての内容は、

②町および審査委員会の決定は正しかったか。

③裁判所の判決内容は、

④審査会と町の考えに異なる点があったと聞か、その相違点は、

⑤裁判所の判決により、町・審査会の誤りほどのように正すか。

⑥誤課税は当該年度のみ

でなく遡及還付するか。

⑦判決を受け審査会はその検証をどう行ったか。

⑧問題となった「農業用施設用地」の課税解釈はどうか。

⑨平成30年の基準年度は評価替えとなる。今から万全を期した対応を。

⑩都市計画法上の趣旨や目的は反映されているか。

町長 ①申し立て内容は、宅地評価が適切でない。地目認定が誤っている。農業用施設用地の適用を求める。以上3点である。この訴訟は最高裁で現在訴訟中である。

②町の決定は正しかったが、一部決定手続きの誤りが指摘された。

③全面的に町の主張が認められた。

④訴訟における主張は、特に異なる点などない。

⑤上告手続き中であり、

訴訟は進行中である。

⑥遡及する考えはない。

⑦審査会は、事務局や弁護士とも検証していると認識。

⑧解釈の変更はない。

⑨適正な課税となるよう進めている。

⑩都市計画法上の用途区分については考慮する。

教師の町へ定住促進

教育長 考えていない

問 町内小・中学校教師で自宅通勤者以外の人を町に定住可能か。

教育長 町への定住促進は考えていない。



▲更地になった「空き家」跡

「空き家」対策の補助金拡大

町長 社会情勢により精査

問 空き家対策の補助金対象を拡大できないか。

町長 補助金の拡大考え、社会情勢により今後、検討する。



田中 智之議員

安全な通学路にPTAの声を

教育長 参画してもらい進める

問 今年4月、聖籠中学校PTAによる交通安全街頭指導が実施された。その際、保護者から通学路上の危険箇所や自動車のマナーの悪さに関する指摘があった。



▲看板無視の通学路

昨年11月策定の「聖籠町通学路交通安全プログラム」には、町内7カ所が対策必要箇所と公表されているが、対策の進捗状況と今後の見通しは、また、これを策定した通学路交通安全推進会議には、PTAや地域住民が入っていない。当事者の声を聴くためにも参加させるべきではないか。

教育長 対策を必要とする7カ所のうち、本年度工事着手予定は網代浜の1カ所。あとの6カ所は

測量等調査実施中で、早期着工に向け計画的に進める。今後、危険箇所を新たに追加・検討する過程で、PTAや地域住民に

平均正答率まで公表を

教育長 学校独自で保護者に知らせる

問 全国学力テストの成績について、以前は学校の序列化につながるとして非公表の市町村教育委員会が多かったが、近年は平均正答率を公にする教育委員会も増えてきた。

本町では「上回る」などの表現や指標での公表であるが、県内では新潟市や新発田市をはじめ7市で平均正答率を公表している。NRTの偏差値は公表するが学力テストは非公表、という町の姿勢には矛盾を感じる。新発田市は「説明責任」を理由に公表しているが、本町にもいえることではないか。

教育長 平均正答率の公表は考えていない。ただ、面談を通して学力テストの結果を子どもたちに示すことで、一人一人の意欲を促す個別指導も可能である。

また、いきなり公表する前に保護者や学校運営協議会等で現状と学校の取り組みを説明し、考えを求めると先だ。

文部科学省の要領では、正答率だけの公表ではなく、改善策も含めた今後の取り組みも公表するよう示されているので、これから検討していきたい。

も参画してもらい、さらに効果のある通学路安全対策として改善を図る。

ピロリ菌検査の実施を

町長 前向きに検討を進める

問 県内でピロリ菌検査を実施する自治体が増えており、今年度は新たに新潟、五泉、十日町の3市が検査を開始する。本町でも早めの検討を望む。

町長 国の動向、県内各市町村の状況も注視しつつ前向きに検討したい。隣接市との連携も大事だ。

保険税は統一化するな

町長 協議の課題である

問 ①平成28年1月18日に都道府県国民健康保険運営方針策定要領のガイドライン案が初めて示された。ガイドライン案では、「新制度においては、都道府県と各市町村が一体となって、財政運営、資格管理、保険給付、保険料率の決定、保険料の賦課・徴収、保険事業、その他の保険者の事務を共通認識の下で実施するとともに、都道府県が県内の統一的な運営方針を定める必要がある」としている。

このことから、さまざまな独自実務も統一すべき考えになる。保険料・税は統一しないよう、声を上げるべきでないか。

町長 ①ガイドライン案では、都道府県も市町村と共に保険者になり、財政を担う。これまでと同

様に保険料の賦課・徴収、資格管理と保険給付の業務を担う。さまざまな異論があるため、協議の課題である。

②一般会計繰り入れは、財政運営を都道府県に移行した後に、国は公費拡充による財政基盤の強化策などを行うため、基本的には不要になる。

新総合事業のスケジュールは

町長 今年中に事業内容を構築

問 ①「新総合事業」の準備スケジュールと、関係者への意見聴取および説明予定はどうか。

町長 ①平成28年2月26日に町内関係者と意見交換した。今年中に事業内容を構築する予定である。

②平成29年度の試算は3千万円となっている。それ以降も、同じ見込みである。

就学援助に生徒会費等も

教育長 平成26年4月1日から支給

問 ①生徒会費、PTA会費、クラブ活動費等も就学援助費にせよ。

②中学校入学準備金を小学校6年3月支給にすべきた。

教育長 ①生徒会費とPTA会費については、平成26年4月1日から就学援助の対象にしている。

クラブ活動費、学級会費の支給については、研究していきたい。

②新潟市が中学校入学準備金の形で出していることなので、制度設計でどうできるか研究したい。



中村 恵美子議員



▲かかって安心 国保診療所



渡辺 豊議員

5月の連休なぜ休館するのか

教育長 規則で休館となっている

問 町長の行政報告の中で、図書館については、誰でもが学び、暮らしの中の図書館、利用できる図書館の実現に向けて、とある。だとすれば、図書館はできるだけ休館せず、町民がいつでも利用できるようにしておくべきだ。

しかし、5月の連休は休館だったが、なぜか。

教育長 現在は、聖籠町立図書館設置条例施行規則により、祝日は休館日としている。これは、平成25年度、町民代表の委員による図書館協議会で検討し決めたことだ。5月の連休中の祝日開館は、職員の体制から難しいところがある。

しかし、他市町村の規

則では、祝日も開館するというところもあるようだ。

今後の検討課題になるうかと思うが、現在はそうなっている。

町長 十数年前からの課題

問 敬老会の式典は、年々参加者が少なくなってきた。式典そのものが旧態依然すぎないか。元気なお年寄りが減っていることも、参加率を下げている一因と思う。

公平に敬老するに当たり、別の手だてを町の方から提案し、実行する考えはないか。

町長 現在のところ、30%強の参加率でここ3年間推移している。しかし、700人強の方々が一日楽しんでいただいている、ということでは意義あることだ。老人クラブ連合会

敬老会式典いつまで続く

町長 十数年前からの課題

や集落老人クラブから、式典はもうやめてもいいよ、という意見は全然出てきていない。むしろ、今の式典のやり方の運営上、いろいろ問題があると捉えている方々が多い。

基本的には、敬老の趣旨にかなうものであれば、どのような方法論でもいいと考えている。



▲楽しい家庭菜園

ふれあい農園の現状と展望は

町長 50%強の利用状況

問 ふれあい農園の利用が伸びていない。

草刈りなど、空き区画の管理はどうしているのか。

また、将来はどうする。

町長 93区画中、平成28年5月末現在、50区画の利用状況である。その他、社会教育事業に利用している。空き区画地の維持管理、耕うんなどは年間委託している。

展望については、従来の考え方にとられず、利用しやすい柔軟な運営方法を検討して、利用率の向上に努める。

今年の夏まつりどんな計画か

町長 心に残る夏まつりを願う



問 今年の聖籠夏まつりは20周年を迎えようとしている。職員も6月に入り、動き始めている。

今年度の予算の中においても増額し、盛り上げるようだが、何点か聞く。

①夏まつり2日間、全体で予算の増額はぐくぐくか。

②現時点どのような祭りをする計画か。

③例年より広く、町外にも発信する考えはあるか。

④来場者ほどの程度と見込んでいるか。人数はどうやって数えているのか。

⑤花火の数はここ3年、何発ぐらいの推移か。今年の見込みは。

また、どうやって協賛金を集めるのか。

町長 ①今年の夏まつりは20回目の節目であり、500万円の増額である。

②今、実行委員会と内容を詰めているところだ。より多くの町民に参加してもらい、楽しんでいただきたい。熱い祭りになりたいとの思いである。



青木 順議員

ステージイベントは特別ゲストの出演、花火大

19回 聖籠夏まつり

8/1 土曜日

8/2 日曜日

会場 スポアイランド 聖籠

12:00- 15:00- サッカーパーク 聖籠広場

15:00- ステージイベント

会場 網代浜海水浴場

14:00- ビーチサッカー

15:00- ビーチコンサート

20:00- 聖籠夏まつり花火大会

76.9 MHz エフエムしばた 実況生放送!!

主催 聖籠夏まつり実行委員会 共催 聖籠町・聖籠町観光協会

▲心に残る夏まつりを ※パンフレットは昨年のものです

会は例年より盛大に行う予定であると聞いている。

③周知については、実行委員会、観光協会にお願いし、例年以上に雑誌、インターネット、ポスターなどで町内外へPRしていく。

また、新発田市、胎内市、周辺も含め、聖籠夏まつりが非常に認知度が高くなってきていることは確かであり、評判も高くなってきている。

④今年新潟まつりと開催日程が重なっていることや、駐車場の確保の問題

題もあるので、例年と同程度。初日が4、5千人程度。二日目は1万人程度の来場を見込んでいる。

⑤花火の数は、平成25年度が185組の協賛で328発。平成26年度が190組405発。平成27年度が188組378発であった。

今年の見込みは、20回目を節目であり、例年より、予算の有効活用をしながら、多くの協賛をいただきたいと考えている。

また、協賛金の集め方だが、協賛依頼文書の発

送や、実行委員会からの電話、訪問などを強化する。

町観光協会のホームページからも情報発信し、協力を求めていると、お願いしている。

産業観光課長 ④人数の数え方については、駐車場の誘導係がいるので、ある程度の状況を把握しながら、人数を数えている。

亀代・山倉小学校と山倉児童クラブを現地調査

総務文教

5月19日、今年度新たに赴任された亀代・山倉小学校の校長先生から、学校経営方針の説明を受け、意見交換した。

亀代小学校の重点目標は、「ひと・もの・こと」との「かかわり」を重視した教育活動である。他者と関わり、環境と関わり、さまざまな考え方や関わることで、よりよい学びや豊かな心を育むことを重視している。

山倉小学校の重点目標は「挑戦する子の育成」



である。新たなこと、少し難しいことに進んで挑戦させ、自己成長の喜びを実感させる教育を目指している。自己有用感の向上、友達との協同性を高める、という二つの視点を重視して進めている。

また、山倉児童クラブの施設は、蓮野児童クラブで指摘された問題点が改善され、子どもたちにとって、より過ごしやすい施設となっている。

(文責 田中智之)

先進地視察の事前研修

厚生産業



話し合った レポート

6月29日、7月に行う先進地視察調査についての事前研修を行った。

はじめに、町が行う農業支援策について再調査した。続いて、視察先である岡山県倉敷市が行うマスカットのブランド化の取り組み、販売促進の方法、後継者対策について、事前研修をした。

次に、5月22日に東港に寄港したクルーズ船の経済効果については、乗客約1900人、乗員約770人であった。

シャトルバスやタクシー

1などで約400人が聖籠町を観光した。

今後も岸壁整備を進め、さらなるクルーズ船誘致に努めたい。また、時期によっては、観光客が望むような観光産業が手薄と感じた。

さらなる活性化に向け、今後の課題と考える。

(文責 青木 順)

「伝える」から「伝わる」広報へ

広報広聴

5月25日、県町村議会議長会の広報研修会に参加した。

研修内容は、午前の部で、県内3自治体から事例発表、午後の部では昨年、全国広報研修会で講師を務められた、広報コンサルタント小田順子さんの講演であった。

今回、事例発表の3自治体の中で聖籠町も発表をさせてもらった。発表後、他の自治体からさまざまな質疑応答があり、



議会広報づくりを通して、情報交換ができて非常に有意義であった。

午後の講演では、「伝える」から「伝わる」広報にするために、文章をわかりやすく書くテクニックの講義を受けた。

議会広報と行政の広報紙は発行目的が同じではない。しかし、住民が読んで、分かりやすい文章を書くことは同じである。

文章力をつけるにはどうすればいいのか、今後の課題である。

(文責 宮沢光子)

基本条例制定を目指し

議会運営

町民の皆さんに議会活動を、いかに関心を持ってもらえるか研修中である。

今後の対応として、町民の皆さんに対し、議会活動についてのさまざまな項目を記載したアンケート調査を計画している。

また、8月には先進地視察研修を、新発田市議会に打診中である。

10月には、議会改革において全国でもトップレベルの評価を受けている先進地、北海道芽室町お

よび栗山町議会に視察研修を行う予定である。

これらの研修の成果を最終的には、本町議会の基本条例の制定に活用したい。

町民の皆さんと共に歩む、より身近な議会となるよう、今後も皆さんを積んでいく予定である。

(文責 田村富美男)

見て聞いて 委員会



☆ 議会を傍聴に きませんか

今回の定例会は、

9月6日(火)開催の予定です。

議会では、どんなことが議論されているのか。あなたに身近なことかもしれません。お気軽に傍聴においでください。

また、本会議のようすを「エフエムしばた」で放送します。ラジオやインターネットで聞くことができますので、都合で議場に來られない方もぜひ放送に耳を傾けていただき、ご意見、ご要望など、お気軽にお寄せください。



★表紙の写真★

「大きくなあれ♪ おいしくなあれ♪」

5月11日(水)、聖籠中学校の教育畑で行われた芋の苗植えです。早く大きくなあれと、お水をいっぱいあげていました。

(撮影 長谷川 六男)

発行責任者

議長 須貝 龍夫

広報広聴常任委員会

委員長 宮沢 光子
副委員長 小川 勝也
委員 中村恵美子
渡辺 豊
長谷川六男
宮沢さやか

みんなのページ

聖籠町に嫁いで来た お嫁さん

子どもに優しい町だと思いました



むらやま みずき
村山 瑞希 さん
(苔沼)

Q どんなきっかけで彼と知り合いましたか？
職場で知り合いました。

Q 聖籠町に嫁いできてどんなイメージを持ちましたか？

おいしい果物がたくさんあります。
小学生の下校時間になると放送が流れて、子どもに優しい町だと思いました。

Q 町での生活はどうですか？(楽しい新婚生活のエピソードもあったらお聞かせください)

海が近くにあって夏を楽しめるし、冬は除雪がきれいにされているので、すごく過ごしやすい町です。これからは、施設などを利用して聖籠町での生活を楽しまたいです。

Q 町に望むことはありますか？

自然に囲まれていてステキなところなので、これからも自然を減らさないでください。

今回は、新発田市出身で平成27年8月に嫁いで来た村山瑞希(旧姓 本間)さんです。

皆さんよろしくお願ひします。

皆さんもみんなのページ「聖籠町に嫁いで来たお嫁さん」に出てみませんか。対象者は町外から嫁いで来たお嫁さんです。自薦・他薦は問いませんので、お気軽に役場議会事務局(Tel.0254-27-1967)までご連絡ください。

6月19日、NPO法人阿賀野市総合型クラブの磐梯山トレッキングに参加した。早朝から夜8時頃までのスケジュールであったが、道中は、いたってノンビリ。バリバリの中高年、それも女性が多いグループである。バスの中では、機関銃のように言葉があちこちで飛び交う。健康、孫の子守り、介護、さまざまな人間関係。さすがに子育てや子どもの教育問題はなかった。私も何かヒントは、と聞き耳を立てたが、これはいちものななかった。しかし、初対面にもかかわらず一種の連帯意識を感じる。みんなに登り、無事に帰ってくるという共通の目的が暗黙の了解としてあるからだ。

私たちも、他人同士ではあるが、聖籠町の住人というくくりの中では運命共同体である。

議会だよりは、委員長を先頭に毎回、より読みやすく変革させながら編集している。いろいろなご意見をお待ちしています。

広報広聴常任委員会
委員 渡辺 豊

編集後記